

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|--|---|
| 事故等番号 | 2010神第122号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成22年4月21日 17時30分ごろ | |
| 発生場所 | 和歌山県由良町由良港 紀伊由良港ムロノキ鼻灯標から真方位066° 1,300m付近 (概位 北緯33° 57.2′ 東経135° 06.1′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年6月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 砂利採取運搬船 第拾壱住吉丸、989トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 132311、株式会社正星 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、三級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 推進器翼に欠損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか5人が乗り組み、砂約1,500m ³ を積載し、船首約5.2m、船尾約6.2mの喫水で、由良港の県営岸壁に着岸作業中、平成22年4月21日17時30分ごろ、浅所に乗り揚げた。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 低潮 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、由良港の県営岸壁において低潮時に着岸作業中、満載状態の余裕水深がない状況であった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、由良港の県営岸壁において低潮時に着岸作業中、満載状態の余裕水深がない状況であったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。 | |